令和２年度

活　動　報　告　書

特定非営利活動法人　まちづくりネット東近江

目　次

第1章　背景・目的……4

1-1.　背景……4
1-2.　目的……4

第2章　情報収集及び提供に関する業務……5

2-1.　市内外の市民活動や地域活動等に関する情報の収集及び発信……5
2-2.市民活動に関する機関誌の発行及び頒布（年３回以上、配布は市が協力）……6
2-3.　活動団体のＨＰ制作等の情報公開及び発信の支援……7
2-4.　東近江市パブリックアクセス推進協議会の運営支援……8

第3章　相談及びコンサルティングに関する業務……11

3-1.　窓口や電話による多様な相談への対応……11
3-2.　各種の相談要請に対するアドバイザーの派遣や専門家の仲介……13

第4章　人材育成及び研修に関する業務……13

4-1.　市民向け市民活動の普及啓発を図る研修会の開催……13
4-2.　資金獲得、団体運営（組織化、情報発信、労務管理、会計事務）等に関する講座の開催……14
4-3.　未来に向けたまちづくりの担い手育成に関する講座の運営支援……16
4-4　コミュニティビジネスの起業及び経営に関するセミナーの開催……18
4-5.　コミュニティビジネスの事例収集と紹介……20
4-6.　中間支援組織の人材育成及び能力開発に関する研修の受講……20

第5章　活動資金の調達支援に関する業務……20

5-1.　各種助成金や補助金の情報提供と申請事務等の指導及び支援……20
5-2.　東近江市わくわく市民活動支援補助金審査会の運営協力及び採択団体の支援……21
5-3.　事業指定寄付制度「にじまちサポーターズ」の運営及び普及……22
5-4.　「にじまちサポーターズ」の評価と持続可能な制度構築に向けた検討……28
5-5.　新たな資金調達制度の調査及び研究……28
5-6.　公益財団法人三方よし基金との連携……29

第6章　交流促進と協働推進に関する業務……30

6-1.　多分野連携で市民活動・地域活動を活性化するための交流会の開催……30
6-2.　まちづくりに関わる多様な主体間の連携及びネットワークの構築……32
6-3.　活動団体や事業者と行政との協働の促進及びコーディネート……34
6-4.　ボランティア希望者と受け入れ団体のコーディネート……36

6-5. 市民活動を促進するフォーラムやイベントの開催に向けた調査、検討、企画等 36
6-6. 東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会の運営支援 37
6-6. 小規模多機能自治の推進に係るまちづくり協議会等への運営支援 41
6-7. 地域共生社会の実現に向けた各テーマごとの中間支援機能との連携 42
第7章 その他市民活動の促進に関する自主業務 42
7-1. 情報・講座依頼 42
7-2. まちづくり協議会への支援 43
7-3. 視察受入れ 43
7-4. 東近江たびいち事業 43
7-5. 休眠預金助成金採択事業 44
第8章 評価と課題 51
8-1. 評価と課題 51

第１章 背景・目的

1-1. 背景

（1） 背景

２０１１年２月に出された、東近江線の分権改革研究会報告書によると、「日本の縮図とも言える東近江市でも、少子高齢化や地域経済の低迷など様々な課題に直面している。これらの課題に対処するためには、行政が縦割りで個々の課題に取り組むのではなく、市民生活の視点に立って組織横断的に課題に取り組み必要がある。その取り組みの１部として、東近江市においては、食・エネルギー・ケアといった市民生活の視点から見た分野が地域において自立している、持続的発展が可能な共生の仕組みづくりを目指している。そして、食・エネルギー・ケアが地域において自立する社会は、これらの分野に関わるヒト・モノ・カネが地域で循環している社会と言い換えることもできる。」となっている。

このような背景を踏み、地域課題解決をめざす市民活動の支援を行う。

1-2. 目的

（1）目的

市民活動団体の育成と交流を促進し、地域の課題解決を図る市民公益活動を支援する等の中間支援機能の充実をはかることにより、市民と市の協働によるまちづくりを推進するとともに、活力ある地域社会の実現に寄与することを本事業の目的とする。

（2）基本方針

- ＮＰＯ、ボランティア、まちづくり協議会などが行う市民公益活動を積極的に支援するとともに、市民活動を促進する。
- 東近江市のまちづくりに関わる市民活動団体・地縁団体、事業者・行政・学校などの多様な主体間の連携・ネットワーク構築のための交流の促進と協働の推進を支援する。
- 人、モノ、情報など、地域の資源を活用してビジネス手法を用いて地域の課題解決を図る活動（コミュニティビジネス）を支援する。

（3）各業務内容に応じた目的・事業内容

1. 情報収集・提供に関する業務
2. 相談・コンサルティングに関する業務
3. 人材育成・研修に関する業務

4. 活動資金の調達支援に関する業務
5. 交流促進と協働推進に関する業務
6. その他市民活動の促進に関する自主業務

第２章 情報収集及び提供に関する業務

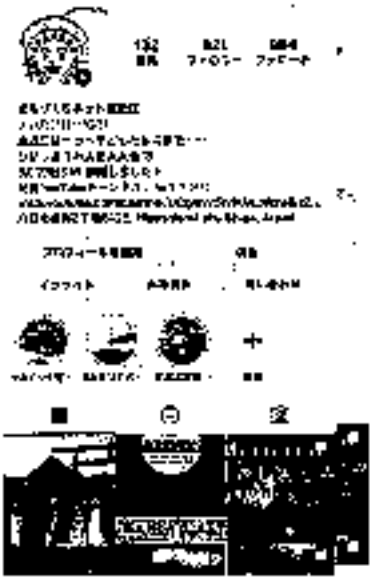
本章では、市民活動・地域活動に関する様々な情報収集を行い、様々な媒体を利用して情報発信・情報提供を行うとともに、市民活動団体の情報公開に対する支援を行う。

2-1、 市内外の市民活動や地域活動等に関する情報の収集及び発信

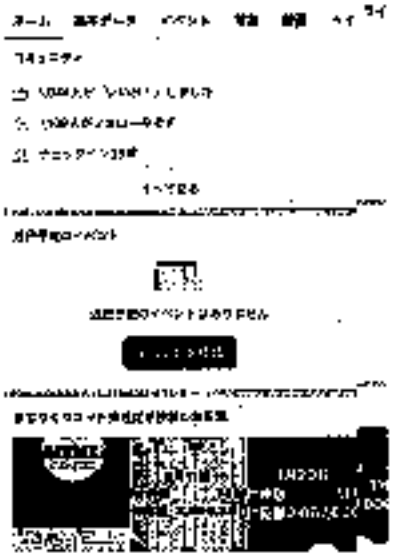
市民活動や、地域活動に関する情報を取材し、広報誌、まちづくりネット東近江のホームページや facebook で発信してきた。市役所１階ロビーの壁面と事務所玄関に市民活動情報掲示板を設置し、チラシやパンフレットの掲示を行ったが、今年はコロナウイルスの関係で事業を中止されたところが多く、チラシ等の掲示が例年にくらべ少なかった。

市役所１F掲示板

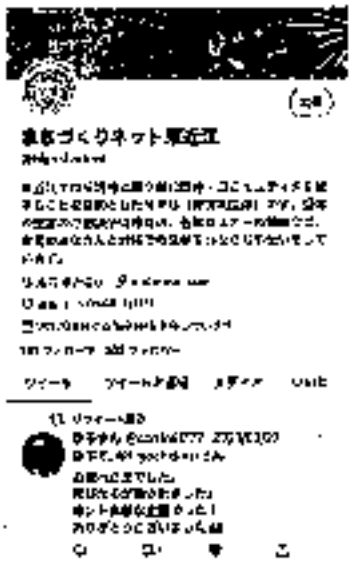
また、情報発信ツールとして Twitter、Instagram、Youtube のアカウントを新規で作成し４年目となる今年度は、フォロワーも順調に増加し発信力を増している。５月からの未来を創るプロジェクトが始まったことや、３月末の東近江大花火大会では Youtube 生配信を行なったことなど、その過程で様々な情報発信を試みたので、一気にフォロワーが広がった。



Instagramフォロワー　387　→　821



Facebookフォロワー　992　→　1109



Twitterフォロワー　132　→　203

Youtubeチャンネル登録者　8　→　431

2-2.市民活動に関する機関誌の発行及び配布（年３回以上、配布は市が協力）

昨年度から、季刊紙として春、夏、秋、冬の年４回発行。また、滋賀県立大学の授業の一環として、学生と一緒に編集をし、若者の視点を取り入れながら作成を行った。授業は、５月から始まり、作成に携わったのは、冬号（12月）、春号（３月）である。

コンセプトは、東近江市のいいところやいいひといいものを紹介する冊子にしながら、カテゴリをなくして、各号のテーマに合わせて作成を行った。

市内設置応諾：７３ヶ所（市内外の事業所及び、公共施設）

表 2-3-1　広報誌の目的

目的１	若い人が住んでいる地域に興味をもってもらう
目的２	東近江市で行われている市民活動を知ってもらう

（1）内容について

編集会議で各号のテーマを作成し、取材先の選定、役割分担を行い、検討をする。

（2）各月ごとのテーマ

以下の表の通りテーマを決め、編集会議で具体的な取材先を決めていく。

表 2-3-3　テーマの検討

発行月	テーマ
夏号	ひがしおうみ元気キラリ体操・かんたんＴシャツエコバッグづくり＆風呂敷の使い方
秋月	東近江市のおいしい散歩
冬月	にじまち×滋賀県立大学　奥永源寺
春月	東近江　ひと　まち　ところ×滋賀県立大学

（3）各号の表紙

夏号

秋号

冬号

2-3. 活動団体のＨＰ制作等の情報公開及び発信の支援

2019 年度も、団体から依頼のチラシ作成と活動団体の情報発信を行う。まちづくりネット東近江の公式 SNS も着実にフォロワーが増えてきている。またＳＮＳの作成やＨＰの作成支援などもおこなった。紙媒体だけでなく、ＷＥＢを使った情報発信が見直されている。

以下チラシ作成と団体の情報公開の件数である。

1. チラシ作成　１７件

　ＨＰやＳＮＳの更新や作成　７件

　Salesforce の導入支援　１件

2. 各ＨＰや facebook などで紹介した件数

掲載　場所	件　数
まちづくりネット東近江のＨＰ	２３件
まちづくりネット東近江の facebook	１８４件
まちづくりネット東近江の Twitter	１２０件
まちづくりネット東近江の Instagram	６５件
まちづくりネット東近江の Youtube	２８件
	総計 420 件　（昨年 183 件）

2-4. 東近江市パブリックアクセス推進協議会の運営支援

（1）パブリックアクセスとは

パブリックアクセスとは、一般市民が一定のルールによって自主的に放送番組を企画・制作することを指す。

また、広くは放送に限らず「言論・表現の公共圏（パブリックフォーム）」にアクセスする行為や制度を指す。

パブリックアクセスは、政治やビジネスに専有されたメディアに多様な市民の意見を反映させる、民主主義の基盤的なシステムであり、先進国でこうした市民放送局が活躍しているが、わが国では法整備がなされていないため先進的な団体等が情報収集し、横の連絡を密にしながら取組み始めているのが現状である。

（2）パブリックアクセスの意義

パブリックアクセスを進める意義としては、情報を市民自身が制作し発信するという「当事者視点」を持ち、議論を徹底して物事を進めることで「合意形成の過程を共有」することができる。

また、東京中心の放送から脱却し、「各地域が情報発信の源」となることができる。

その他にも、地域の記憶を共有するような「ソーシャルキャピタルの構築」や、「過度の商業主義からの脱却」、「地域の非営利活動の促進」等が可能となり、熟議型民主主義が発展していくと考えられている。

（3）東近江市でのパブリックアクセス

東近江市では、東近江線の分権改革研究会の中で「パブリックアクセス」の部会が立ち

上がり、その中で東近江市でのパブリックアクセスの実現に向けた検討会が開催され、その後 2012 年に東近江市パブリックアクセス推進協議会が設立され、東近江市でのパブリックアクセスを具現化する協議が行われている。まちづくりネット東近江は、構成団体の一つであり、事務局を担っている。

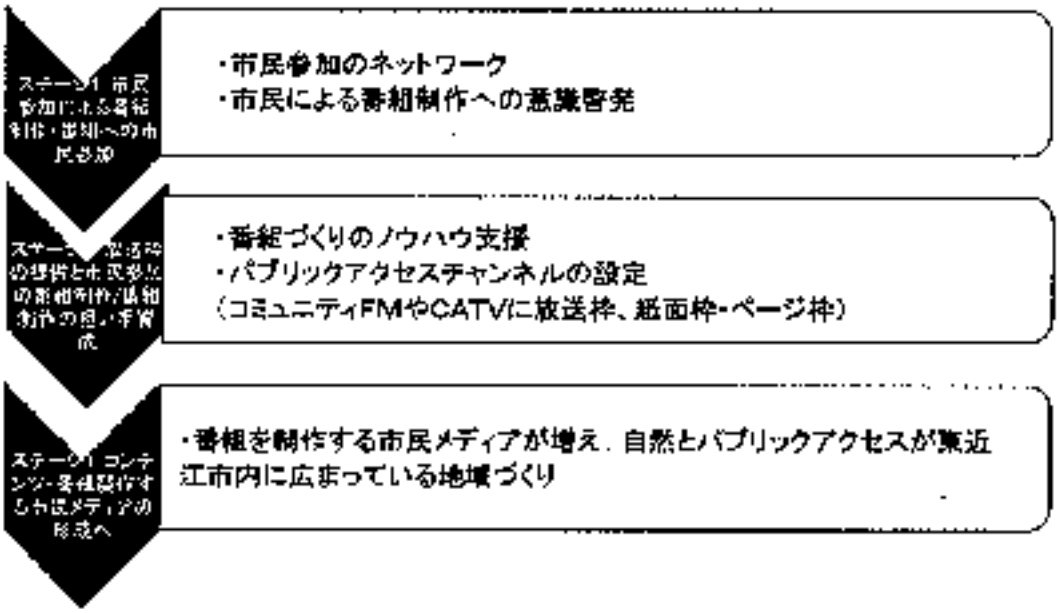


図 2-5-1　パブリックアクセス実現方策

（4）東近江ケーブルネットワーク株式会社との番組制作

東近江スマイルネットにて、毎月１回、日曜日～土曜日まで市民投稿枠の中で 15 分の番組を制作している。番組名「まちのわ」。今年度は、１３作品の投稿があった。以下、番組に投稿があった作品である。

投稿月	番組名	投稿者
4 月	まちの和会議「湖東編」（再放送）	ラウンドテーブル運営委員会
5 月	未来（あす）を創るプロジェクト～新型コロナウイルス感染症に対する緊急支援～	認定特定ＮＰＯ法人まちづくりネット東近江
6 月	「未来を創るプロジェクト」～池田牧場編～	あすつくプロジェクト委員会
7 月	「未来を創るプロジェクト」～布引焼窯元編～	あすつくプロジェクト委員会
8 月	「わ音」無観客 LIVE@永源寺図書館	楽楽ひろば
9 月	「富田彦一の世界」展	楽楽ひろば
11 月	わくわくこらぼ村オンライン	ＮＰＯ法人まちづくりネット東近江
12 月	永源寺みんなのふるさとまつり「良い夜いコンサート」	ポコアポコの会

1月	わくわくこらぼ村オンライン	NPO法人まちづくりネット東近江
2月	「大人の、お話と音楽の会」	紙芝居サークルてんとうむし
3月	いざというときの命のバトン～御園地区啓発映像～	御園地区住民福祉推進会議

（5）～スマホで写真撮座～

日時　2020年10月16日（金）

第1部14：00～16：00第2部16：00～18：00

場所　あいとうマーガレットステーション　ラベンダールーム

参加費　1,000円

講師　谷田真次さん（株式会社WeaveStyle）

参加者　16名

＜目的＞

スマホのカメラの性能もあがり、FacebookやInstagramへの投稿も簡単になってきた。写真を使って情報発信をしたい方が、上手に撮影をして、加工や修正の方法を学んで貰う。

↑参加者の写真

＜感想＞

・GoogleフォトやGoogleレンズなどの便利なアプリも知れて良かった。

・上からや、下からなど、視点を変えるだけで印象の違う写真が撮影できるのは面白かった。

＜所感＞

まちづくりネット東近江の公式LINEに友達登録してもらい、座学の後の撮影会での写真を送信してもらい、参加者で共有する形式。マーガレットステーション店内の撮影も許可を取り、外のコスモスだけではなく被写体のバターンも多く良かった。参加者も新しい方が多く、チラシの効果があった。第1部と第2部の表記の仕方が不十分で同じ内容だということが伝わっていなかったのが反省点。

第３章 相談及びコンサルティングに関する業務

本章では、市民活動・地域活動の実施・参加に関する相談、団体の組織化・運営・法人化等に関する各種の相談と支援を行う。

３-１． 窓口や電話による多様な相談への対応

（1） 窓口・電話による相談への対応について

相談者の内容、対応したこと等をデータベースのセールスフォースに入れて、スタッフ全員で共有し、次に役立つように記録を残している。さらに、記録を集計してまちづくりネット東近江が行う支援のあり方や、期待される役割等を検討するデータとして活用している。また、県内の中間支援団体の相談件数の把握のために、相談内容と相談者の所属を統一の項目とした。

【実績】 総相談件数 １５２件（昨年１３４件）、

相談総数時間 １７５.９時間（昨年１７１.５時間）

相談が大幅に増えた。コロナウイルスによるオンラインの相談や、パソコン、スマホなどの相談も多い。講座で完結できるようにと考えているが、講座以外にも質問があってこられる場面が増えた。コロナウイルスにより、事業活動は縮小傾向だったが、IT、オンラインなど新しい取り組みに対して、市民も自分で何とかしなくてはと考えられているようだ。その他、広報・PR など情報発信に関するものは、今年度はコロナの影響もあり、事業が中止になったこともあり、例年に比べたら少ない。しかし、ホームページ作成の要望は強く講座に結び付いている。また、企業が地域の活動団体を紹介してほしいという相談では、団体の方が場所を探していたこともあり、その店舗へ入ることになったことや、活動団体が店舗でワークショップをするイベント開催に結び付くなど、マッチングできた。

<表 1>は項目の主な相談内容である。

相談件数

大分類	小分類	件数
1 法人の設立	設立の手続きと流れなど	8件
2 法人の解散	法人の解散相談	1件
3 コーディネイト	紹介やマッチングなど	9件

4　協働		2件
5　会計・財務相談	会計・財務の具体的な内容など	6件
6　雇用・労務		2件
7　事業計画	組織・事業運営、「協働」に関することなど	6件
8　資金調達	助成金、活動支援金など	18件
9　情報発信	広報・PR、情報発信 など	56件
10　組織運営	定款変更・役員変更など	37件
11　その他	上記分類に当てはまらないもの	7件
	(総計)	152件

主な相談者

分類	件数
個人（個人事業主、企業）	35件
NPO法人	18件
行政団体	38件
社会貢献団体	0件
財団法人・社団法人	11件
企業	10件
公的機関	14件
社会福祉法人・学校法人	9件
地縁団体等	14件
その他	3件
(総計)	152件

3-2. 各種の相談要請に対するアドバイザーの派遣や専門家の仲介

（1） 各種の相談要請に対するアドバイザーの派遣、専門家の仲介

相談された案件について専門的な支援が必要となった為、専門家及び専門機関へコーディネートを行うことが極官で専門家を派遣した。

① 団体運営アドバイザーの派遣

対象団体	NPO 法人　里山保全活動団体　遊林会
連携先	特定 NPO 法人しが NPO センター
内容	団体運営を補強するために、専門家として派遣。事務局内の運営基盤の補強を行う。

② 広報誌作成の講師派遣

対象団体	八日市まちづくり協議会
連携先	風待の北林さん
内容	広報誌のレイアウトデザインをお願いしたいとのことなので、専門家として、デザイナーの派遣を行う。

③会計相談

対象団体	暮らしの寺子屋
連携先	石井税理士事務所
内容	活動が収益事業の場合の税務について相談を行なう。

第４章 人材育成及び研修に関する業務

本章では、市民活動・地域活動を担える人材の育成と団体運営や活動の活性化に資する研修や講座の運営を行う。

4-1. 市民向け市民活動の普及啓発を図る研修会の開催

ひよこサロン

内容：市民活動をしていきたいと思っている方や、これまでも様々な活動をしてきたが、もっと関わる人を増やしたいと思っている方などが集まり、学ぶ機会とする。その

中で、普段の悩みなどを話してもらいながら、まちづくりネット東近江の相談事業へつなげていく目的で開催しているが、今年も予定はしたが、参加がなかった。

4-2. 資金獲得、団体運営（組織化、情報発信、労務管理、会計事務）等に関する講座の開催

パソコン相談会、写真講座、薬膳などを開催した。それぞれの講座に関しては、以下の通りである。

（1）パソコン相談会

目的：団体活動をしていく中でパソコンを使って文書作成や表計算、グラフ作成やイラストレーターをチラシ作成に役立てるなど、困っている方の相談を受けながら対応する。

日時：2020年6月 9日	1名
7月 7日	4名
8月21日	5名
9月18日	6名
10月 8日	6名
12月15日	6名
2021年1月26日	10名
3月 9日	7名
総数	45名

参加費：1,000円

参加者：総数45名

講　師：まちづくりネット東近江スタッフ

<所感>

「お悩み相談会」という名称からか気軽に参加してもらえた。それぞれ個別に受講者の相談を受けながらなので、スタッフ全員で関わることもあった。

活動団体のチラシやパワーポイント作成、イラストレーターの操作など、受講生の幅が広がっている。

（2）まちづくり協議会への出前講座

<目的>コロナ禍により、人と集まることが出来なくなったことで、オンラインの活用を考えられ、ライン講座やZoomの使い方などを学んで今後に活かしたいと考えられ、そのために下記の通り講師としてサポートした。

月	日	活動内容	参加者
10	6	八日市まち協スマホ相談会	7
10	23	横溝まち協スマホでこんなことできる講座	18
11	12	建部まち協スマホ講座	15
11	17	八日市地区まち協スマホ相談会	9
11	26	建部まち協スマホ個別相談会	9
12	11	建部まち協LINE講座初級編	10
12	18	建部まち協スマホ個別相談会	4
12	18	八日市まち協スマホ個別相談会	10
2	16	八日市スマホ相談会	4
2	22	市辺まち協スマホ講座	10
3	1	市辺まち協LINE講座	20
3	8	市辺まち協LINE講座グループセッション	10
3	15	市辺まち協LINE講座グループセッション	10
3	16	八日市スマホ相談会	6

総計　142名

（3）薬膳茶講座

<目的>何か活動をしたいという相談から講座の支援を行い、今後の活動の方向性を探る為に講座を一緒に行う。

月　日	内　容	参加者数
6月25日	便秘編	20名
8月24日	秋の季節と肺編	11名
8月27日		9名
10月19日	肥満予防編	1名
10月22日		7名
12月14日	冬の季節と腎編	2名
12月17日	更年期	13名
2月25日		14名
2月27日		5名

参加費：1,000円
参加者：　82名（合計）
講　師：込山利志栄さん（養生を学ぶ会）

写真：当日の様子

<所感>

ひよこサロンに参加されたあと、自分の知識や経験を生かした講座の開催を行いたいということで、地域の人が健康で元気に暮らせる体づくりを行うことができるよう、身近な食べ物を活かして健康になれる方法を伝える講座を行う。当団体は、企画や運営の協力を行う。

（4）助成金・補助金個別相談会の開催について

4月21日の助成金・補助金説明会を、開催の方向で準備していたが、緊急事態宣言の渦中でもあり、中止とした。

個別相談会は、予約制として以下の助成金・補助金についての申請書の書き方などを伝えた。

<対応助成金・補助金>

・東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業
・東近江市わくわく活動補助金
・東近江市高齢者活動補助金
・事業指定寄付制度　にじまちサポーターズ
・全国、市内外の助成金・補助金など

<個別相談日>

4月21日（火）10：00-17：00　藤澤さん、安川さん、中谷さん
4月24日（金）10：00-17：00　楽々ひろば、
4月30日（木）10：00-17：00　暮らしの手手屋
場所：まちづくりネット東近江

4-3、未来に向けたまちづくりの担い手育成に関する講座の運営支援

1．地域人材アクションプラン支援業務

（1）地域づくり人材育成アクションプランの推進支援業務

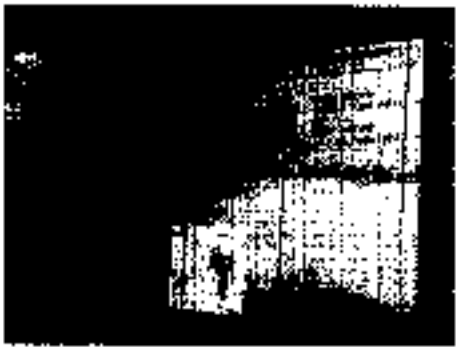
1）地域づくり人材育成アクションプランの庁内での研修会及び講演会の開催支援

①東近江市地域づくり人材育成アクションプラン第1回研修会

日時：令和２年11月25日（水）15：00～17：30
場所：東近江市役所本館302会議室
内容：講演会
「今までの活動を通じての市民との関わり方」
「東近江市地域づくり人材育成アクションプランの目的と活用」
一般社団法人地域活性化センター人材育成プロデューサー
前神　有里氏
ワークショップ
「地域づくり人材育成アクションプランに係る取組内容と検証」
「今後に向けての課題・展望」
３グループに分かれて討論会を行う

⑥地域循環共生圏勉強会
日時：令和２年12月21日（月）14：00～16：00
場所：東近江市役所313会議室
内容：開会・趣旨説明　近畿環境パートナーシップオフィス
事業説明　「地域循環共生圏の概要」
近畿地方環境事務所　環境対策課　柄本　廣智氏
事例紹介　「地域循環共生圏の創造に向けた亀岡市の取り組みについて」
亀岡市役所　環境政策課　中川　聡氏
情報提供　「近畿財務局の取り組みについて」
近畿財務局大津財務事務所総務課　片山　昌俊氏
質疑応答
参加者：17名

【勉強会 講師発表概要】
・「地域循環共生圏の概要」近畿地方環境事務所　環境対策課　柄本　廣智
・地域循環共生圏の創造に向けた亀岡市の取り組みについて
事例紹介　亀岡市役所　環境政策課　中川　聡　氏
・近畿財務局の取り組みについて　近畿財務局　大津財務事務所総務課　　片山 昌俊氏
【当日の様子】



③東近江市地域づくり人材育成アクションプラン第2回研修会

日時：2021年2月15日（月）16：00～17：30

場所：東近江市役所新館317・318会議室

講師：NPO法人エトコロ　中島みちるさん

内容：

・高校生から活動を通じて感じたことなどを発表

・高校生の活動に関わった八日市商工会議所青年部及び東近江警察署員から発表

・上記発表を踏まえて、中島みちる氏から「若者を取り巻く現状」等をテーマに講演

・高校生も参加してのグループトークを実施

・グループトークで出た意見を発表

参加者：30名程

広報ひがしおうみ２月号特集ページに関わった高校生

東近江市職員

地域づくり人材育成アクションプラン検証委員

一般財団法人地域活性化センター職員（Ｚｏｏｍで参加）

当日の様子

4-4、コミュニティビジネスの起業及び経営に関するセミナーの開催

（1）コミュニティビジネス相談会の概要

目的：・地域のためのビジネスを支援すること。

・地域の活動を更に発展させること。

・今後の活動について助言をもらうことで、さらに発展していく。

対象：東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業の採択団体

内容：講師に来ていただき、それぞれが現在、困っていることや課題と感じていることに対して、アドバイスを頂く。ＳＩＢ（ソーシャルインパクトボンド）の仕組みを使った補助金なので、成果目標が達成できているかも同時に確認を行い、アドバイスを行う。

講師：横田修氏（滋賀県立大学准教授）

4-3-1　コミュニティビジネス相談会の内容

回数	日時	内容
1回目	8月12日（水） 15:30～19:00	・成果目標の決定 ・事業タイトルの決定 ・今後の活動について ・これから始めるにあたって困っていること。
2回目	10月20日（火） 16:00～20.00	・前回からの進捗確認 ・活動をしていく中で困っていること
3回目	3月18日（木） 13:30～15:00	・今年度の成果について ・選考会（評価）の発表について ・来年度に向けて

採択団体（2団体）

1）　合同会社 Mitte

事業名：フードバンク東近江

成果目標

① 供給先を管理・ネットワークする仕組みが構築されている。

② 提供側となる事業者等を管理・ネットワークする仕組みが構築されている。

③ 供給先、提供側等のステークホルダーとの関係を示した事業スキーム構築し、営業活動に活用できる事業計画書を作成する。

2）mais　Latino（まいす　らちーの）

事業名：　異文化の交流と相互理解の実現

成果目標

① ラチーノ学院の情報を整理し、対外的な情報発信を行えるようにする。

② 高校生の進路同行状況の調査をし結果をまとめる。

③ 保護者の意識調査を行い、学校と結果を共有する

④ 地域に根差した外国人学校としての持続可能な仕組みを探索する。

（2）相談会の様子

今年度、東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業の成果報告会の支援を行う。報告内容を見える化できるよう板書を行う。

日時：2021年3月18日（木）13：30～15：00

場所：まちづくりネット東近江

4-5. コミュニティビジネスの事例収集と紹介

（1）東近江市内で取り組まれている事業や団体立ち上げについての情報を収集した。

団体名：訪問型子育てサポートLoops
コミュニティビジネススタートアップ事業採択後、産前産後、小さな子のいるご家庭に訪問し、子育経験のある女性スタッフが伺い家事をサポートする事業を行なう。

4-6. 中間支援組織の人材育成及び能力開発に関する研修の受講

7月15日	パンフレット作成講座（オンライン）
7月21日	Salesforce オンライン研修
8月 4日	写真講座（オンライン）
8月 2日	にいがたカレッジオンライン研修（会計）
9月 9日	にいがたカレッジオンライン研修（ファンドレイジング）
9月14日	にいがたカレッジオンライン研修（助成金）
9月24日	にいがたカレッジオンライン研修（プレスリリース）
9月24日	公式ライン＆グーグル活用講座
9月30日	にいがたカレッジオンライン研修（ウエブマーケティング）

第5章 活動資金の調達支援に関する業務

本章では、市民活動・地域活動の資金獲得に関する支援について報告する。

5-1. 各種助成金や補助金の情報提供と申請事務等の指導及び支援

（1）助成金講座の開催

毎年この次期に行なっていた助成金講座は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言により、中止にした。

助成金の相談は実績の申請に向けてこられた方向けに個別相談で対応した。

（2）各種助成金・補助金の情報提供の支援

情報提供件数１１件

掲載月	件数
4月	5件
5月	4件
7月	2件

5-2、 東近江市わくわく市民活動支援補助金審査会の運営協力及び採択団体の支援

（1）概要

東近江市わくわく市民活動支援補助金は、市民が主役のまちづくりを推進するため、市民活動団体が自ら企画して実施する活動に対して、市がその経費の一部を助成する補助金制度で、連携し支援する。

（2）採択団体

1）ちょっとわくわくコース

事業名	団体名
持続可能な暮らしのためのDIY木工推進	暮らしの寺子屋
生ゴミコンポストで持続可能なライフスタイルの第一歩	土とつながる暮らしSoil

（3）当日までの協力

・広報宣伝

・申請書の書き方支援

・団体の事業内容の広報活動

（4）審査会について

日時：2020年6月17日（水）16：30～

場所：東近江市役所３１３会議室

（5）それぞれの団体への支援

こらぼ村オンラインの団体活動紹介での動画作成支援

活動している写真を元にオンラインのための動画を作成する。

・特定非営利活動法人　まちの相談室よりそい

・水辺の里伊庭を考える会

・東近江トレイル実行委員会
・おうみ東部おやこ劇場
・能登川ちんどん制作委員会
・中仙道五個荘にぎわい事業委員会
・ノラノコ
・相谷里山会
・NPO こもれ日小田刈家
・夢の館

5-3、 事業指定寄付制度「にじまちサポーターズ」の運営及び普及

（1）にじまちサポーターズの今年度の状況

2020年度のにじまちサポーターズは、コロナ禍により、地域の事業者が大変な状況になっていることで、年度当初に先づけチケットの寄付集めを行う事になった。また、年末に地域の社会貢献団体から、小学6年生と中学3年生に思い出を作ってやりたいと、3月末に花火大会をしたいという申し入れがあり、ともに寄付集めを行う事になった。
以下のとおりのスケジュールで企画・運営を行った。

（2）未来を創るプロジェクト

1、目的

①新型コロナウィルス感染症で売上が減少している地域の店舗や事業所を支援し、地域と店舗や事業所を結ぶことで、地域内の経済活動につなげていく。
②地域の店舗や事業所を多くの人に知ってもらう機会とする。

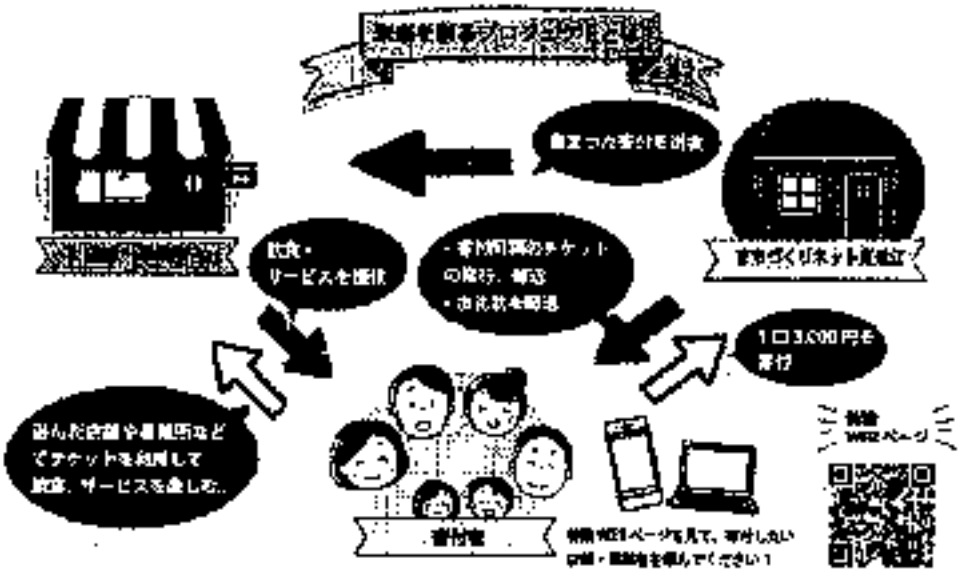
2、実施内容

1）事業所を資金で応援

新型コロナウィルス感染症で売上が減少している地域の店舗や事業所を支援し、地域と店舗や事業所を結ぶことで、地域内の経済活動につなげる。

①内容

店舗や事業所ごとに、チケット購入を募る。チケットを購入された方は、来年の1月～2年間有効のチケットを利用して、選んだ店舗や事業所で飲食やサービスを楽しむ。全額寄付や、HP・SNSに名前の掲載をするということも選べる。



②実績

実施期間：2020年5月1日～2020年12月31日（7カ月）

総寄付金額：3,671,500円

総寄付者数：233人

参加事業者数：138店舗

月毎応援金の入金実績

月	5月	6月	7月	8月	9月
金額	141,000	623,000	30,000	261,000	201,000
件数	10件	13件	3件	9件	9件

月	10月	11月	12月	1月	合計
金額	204,000	196,000	393,000	1,099,000	3,150,000
件数	9件	3件	4件	52件	112件

③具体的な実施内容

＜参加事業所＞

・参加事業所の申込手続き

参加申込受付→HP、用紙

参加申込後事業内容を確認後、掲載有無を判断

参加申込事業所をHP、申込フォーム、セールスフォースへ掲載

参加申込店舗へ掲載したことを伝えるメール送信

・毎月、チケット購入額・寄付金額を伝え、振込手続き

事業所毎に、金額、コメントの確認作業

メールでチケット購入願等と、コメントを送信

[redacted]

送金希望の事業所へ振込手続き

各口座への振込

＜寄付者＞

・チケット購入者や寄付者の申込手続き及び管理

申込フォームから申込の確認

セールスフォース（寄付者管理システム）へ記載

申込受付のメールを送信

振込が確認されたら、振込確認メールを送信

チケット希望の方には、12月23日にチケット、お礼状等送付

全額寄付者や運営へ寄付いただい方は、寄付金証明書を発行し送付

＜広報＞

・チラシ作成

・ポストカード作成

・SNSでの配信（Instagram、Facebook、Twitter）

・店舗紹介動画作成（YouTube）

・店舗紹介ポスター作成

・各新聞社及びラジオ放送などの取材応対

2）地域の店舗や事業所を多くの人に知ってもらう機会をつくる。

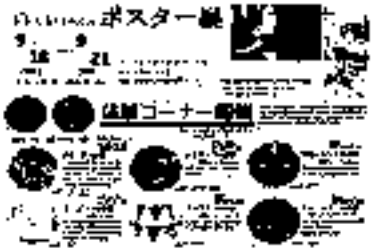
各事業所やお店を回って撮影をしているポスターの展示を行う。また、同時にWSの開催をして、ポスターを見てもらうだけでなく、体験をすることで、事業所や店舗を身近に感じてもらえる機会を設ける。

＜概要＞

① ポスター展示期間

2020年9月18日（金）～9月21日（月・祝）

10：00～22：00（最終日：17：00まで）



② WS開催期間

2020年9月20日（土）10：00～16：00

2020年9月21日（月・祝）10：00～16：00

③ 会場

ショッピングプラザアピア1階セントラルコート

（住所：東近江市八日市浜野町3番1号）

④ 参加店舗

4店舗

A&H Cafe' Gallery　　ボーセラーツサロン Staina

グルーデコサロン Puananala(プリナーナーラー)　　L'ABEILLE Atelier CHIHIRO

⑤ 当日参加人数

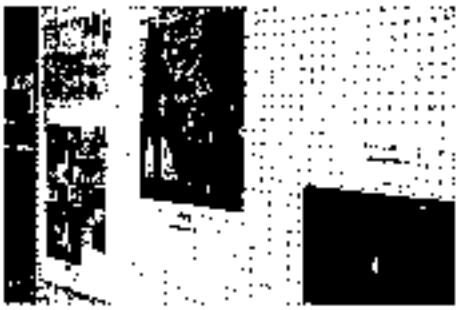
120名

⑥ 広報

チラシ　200枚配布

HP及びSNSによる広報（Facebook、Instagram）

⑦ 当日の様子



未来を創るプロジェクト決算報告書

<収入の部>

勘定科目	補助対象外	補助対象額	合計	摘要
寄付金収入	3,671,500	0	3,671,500	運営寄付￥521,500
自主財源	1,305,201	1,549,130	2,854,331	
補助金収入	0	1,500,000	1,500,000	
合計	4,976,701	3,049,130	8,025,831	

<支出の部>

勘定科目	補助対象外	補助対象額	合計	摘要
受託助成金	3,150,000	0	3,150,000	各事業所へ助成金
人件費	1,632,000	2,448,000	4,080,000	1700円×3人×4h×20日×10カ月
講師謝金	0	20,000	20,000	資金調達の相談
印刷経費	48,500	150,383	198,883	チラシ印刷、チケット印刷
事務消耗品費	1,584	123,207	124,791	ポスター展準備等

通信費	38,846	98,996	137,838	チラシ送付、チケット郵送代
広告宣伝費	49,903	146,143	196,046	SNSの広告費、報知新聞広告費として
振込手数料	55,868	62,405	118,273	振込手数料、クレジット決算手数料等
合計	4,976,701	3,049,130	8,025,831	

（3）Memorial ひがしおうみ大花火大会

＜背景・目的＞

新型コロナウイルス感染症の影響は、様々なところに影響を与えていた。特に子ども達は、学校行事が中止になり、友達同士の思い出づくりの機会が減ったり、日常生活や学校生活でも多くの我慢を強いられたりする日々となっている。また奇しくも、2020年度は、東近江市が合併して、15年目の節目にあたる年であった。そんなかで、子ども達を中心に、多くの人が喜んでもらえることを年度末に行うことができたらと考え、今回の花火大会を計画し、各地域で、最終学年の小学6年生、中学3年生の子ども達の思い出づくりができるイベントも合わせての各地区一斉にあげる花火大会の実施を計画した。

＜事業内容＞

（1）資金調達

ひがしおうみ大花火大会の寄付及び協賛金集めの窓口を開設

寄付金、協賛金の管理

寄付者・協賛事業者の名簿作成及び管理

寄付者にお礼状、寄付金受領証明書の送付

（2）事務作業

チラシ・ポスターの作成及び配布

申込フォームの作成

HPの作成及び更新

（3）花火の当日配信

花火のYouTube配信

配信のための準備及びレクチャー

○資金調達

これまでの事業指定寄付制度「にじまちサポーターズ」や「未来を創るプロジェクト」を活用して、花火大会にアレンジをしながら、資金調達の仕組みを構築する。

総額：12,971,683円（4月7日現在）

（個人：2,886,349円　事業者：10,085,334円）

件数：個人：500件　事業者：350件　計850件

○事務作業

チラシやポスターの作成

HP の構築及び更新

花火の当日配信

YouTube での配信作業

まちづくりネット東近江の YouTube チャンネルにて、当日の７ヵ所の花火の打ち上げの様子を配信。

各地区とは、Zoom でつなぎ、OBS（動画配信用編集ソフト）を使って、配信を行った。

YouTube 再生数：14,624 回視聴　9,091 人視聴

ドローンによる撮影

各地区のふれあいイベント（一部）

各地区でふれあいのイベントを開催された。それぞれの地区で演舞し、様々な団体や個人が協力しながら、開催をした。

- 永源寺地区…永源寺桜の植樹、希望の灯り（イルミネーションイベント）
- 愛東地区…COWCITY CLUB BAND のコンサート
- 湖東地区…コトナリエイルミネーション
- 五個荘地区…思い出の品の流し
- 蒲生地区…蒲生祭コンサート
- 八日市地区…玉小　バルーン作成　布引小　タイムカプセル
  グリスタ　来成年の生張

5-4.　「にじまちサポーターズ」の評価と持続可能な制度構築に向けた検討

にじまちサポーターズ検討委員会

２０２０年度は他の寄付集めをしたことで、にじまちサポーターズの事業は中止した。そのため検討委員会は開催してない。

5-5.　新たな資金調達制度の調査及び研究

（1）制度融資の検討

社会情勢が大きく変化する中、地域課題は多様化しこれまで以上に行政と市民、市民

と市民が協働して課題を解決することが必要となっている。そこで「志のあるお金」を「地域資源を活かしつつ」解決をめざす多様な主体やその取り組みに対し、社会的に意義のある活動に生かすために「東近江三方よし基金」が設立された。

2018年度に公益財団法人となり、新たな助成や寄付、SIB事業など大きく広がっている。湖東信用金庫と連携し、地域の融資制度設計に携わり、以下のような融資制度が出来た。融資の審査がより公共的なものとなるような形となった。

東近江三方よし基金制度融資「ビーナス」に係る公益性評価実施要領

1　目的

湖東信用金庫が実施する東近江三方よし基金制度融資「ビーナス」に係る公益性評価を実施し、持続可能な東近江市の実現に貢献することを目的とする。

2　対象者

東近江市内で事業を行うもので、湖東信用金庫が実施する東近江三方よし基金制度融資「ビーナス」の申込事業者（以下「申込事業者」という。）を対象とする。

3　申請

（1）申込事業者は、融資を希望する月の3か月前までに公益財団法人東近江三方よし基金に申請する。

（2）申込事業者は、次に掲げる書類を公益財団法人東近江三方よし基金に提出するものとする。

①東近江三方よし基金制度融資「ビーナス」に係る公益性評価申請書（様式1）

②前各号に規定するもののほか、公益財団法人東近江三方よし基金が必要と認める書類

4　公益性評価委員会

（1）公益性評価委員会を設置し、必要に応じて開催する。

（2）公益性評価等の対象に応じ、優れた見識を有しかつ公正・中立な立場を堅持できる者で、学識経験者、地域金融機関関係者、士業・専門家又は行政関係者のうちから、評価委員を公益財団法人東近江三方よし基金の理事会が選任し、理事長が委嘱する。

（3）評価委員の任期は2年以内とし、再任を妨げない。

5-6.　公益財団法人三方よし基金との連携

6回の理事会に出席

東近江の森と人をつなぐあかね基金の助成金審査会に参加

近江商人応援事業評価委員会に参加

新型コロナウイルス対策のための子ども・若者への緊急サポート審査会に参加

第６章　交流促進と協働推進に関する業務

本章では、市民活動・地域活動を促進するため、分野を超えた連携と協働推進を支援する。

６-１．　多分野連携で市民活動・地域活動を活性化するための交流会の開催

（１）Zoom 座談会の開催

今年度は、コロナ禍によりオンラインでの交流会を開催する。

① まちづくり協議会事務局長による意見交換

＜目的＞Zoom の経験がないところも多く練習を兼ねて使い方を学び、アイスブレークを通して市民に事務局長のことをわかってもらう機会とする。また、コロナ禍によるお互いの取り組みの交流を行なう。

日時：２０２０年１０月２８日（水）１４：００～１５：３０　　参加者８名

１０月２９日（木）１４：００～１５：３０　　参加者６名

（所感）

お絵かきしり取りをしてもらったので、画用紙に描いた絵を見ながら交流した。コロナ禍でも工夫しながら活動を進めておられ、新たな広報の手段をラインを使って始めているなど参考になったところが大きい。

② 地域でつながり働く人たち

＜目的＞

なかなか人と会えない、生の情報を得る機会がないという中で、困っていること、悩んでいること、コロナで工夫したことなど、お互いの近況を語りあう

立場が違う人たちの声からお互いの状況を把握し、新たなコラボが生まれることを願って開催する。

日時：２０２１年２月２４日（水）１４：００～１５：３０

場所：Zoom

内容：参加者による自己紹介及びコロナ禍においての現状

コロナ禍で変化した日常のこと

今後やっていきたいことやめりたいこと

参加者同士でコラボできそうなこと

参加者：NPO 法人里山保全活動団体遊林会　熊木

社会福祉法人東近江市社会福祉協議会　中西　次谷

五個荘地区まちづくり協議会　富田

NPO 法人愛のまちエコ倶楽部　財満

東近江市　西　小串　大和田　片山　清江　村田

NPO 法人まちづくりネット東近江　遠藤　藤　森下

計　14名

（[具体的な内容]

◎参加者による自己紹介及びコロナ禍においての現状

・コロナ禍に合わせて、今までやってきたことの内容を変更しないといけなかった。

・今まで人気の講座だった飲食を伴う講座の開催ができなかった。

・地域での話し合いの場がもてない。

・社協でやっている貸付がすごく増えている。

・Zoom での会議が増えた。

・オンラインだからこそできること。メリットも見えてきた。

・毎年やっていた講座が中止。

・地域の人からの相談が増えた。

・コロナ禍で空いた時間で団体の事業の見直し

（ビジョン、ミッション、ブランディング）

・リモートワークを取り入れた。

・コロナ禍で、情報の差し替えが多く、最新情報を届けにくい状況があった。

・相談は、以前と同じくらいあるが、内容は多岐にわたり、オンラインのことが増えた。

◎コロナ禍で変化した日常のこと

・子どもが家にいること期間、おじいちゃんやおばあちゃんに見てもらうことが多くて、家族のありがたさを改めて感じた。

・あまり買い物に行かなくなった・

・飲み会が減った。その中で、ストレスがたまっている人が増えているのではないか.

・コロナについては、様々な考え方がある。

・以前より職場と自宅の往復が多くなった。

・子どもが生まれたが、子どもを育てるための講座がすべて中止になった。

◎今後やっていきたいことややりたいこと

・Zoom を活用して、話し合いの場をもってきたい。楽しく活用できたら。

・森の整備事業で子ども達も多く参加してくれるようになった。スタッフ間で安全に気を付けることができるようにしたい。

・昨年度は、集まることが難しかった。データの整理を行い、地域の事業の見直しに活用してもらえるようにしたい。

・円卓会議をオンラインですることは新たな取組になり、参加者も広がった。このような場を活用していきたい。

・コロナ禍で、時間ができたので、スタッフで今後のビジョンやミッション、ブランディングを考えていきたい。

・クラウドファンディングとかにもチャレンジをしていきたい。

・横とのつながりをもっと持っていきたい。

・コロナ禍でできた時間を活用して、今後の事業展開を考える時間にしたい。これから

は、変わってくると思うので、何が必要なのかをもう一度考えるためにも、アンケート調査などを行い、データを収集していきたい。

③参加者同士でコラボできそうなこと

・コミセン事業で、遊林会や工コ県楽部の事業をできたら。

・野外活動の情報をもらったら、地域のサロンなどで活用できるかもしれない。

・主婦や高齢者が力を発揮できる場をつくりたいと考えているので、また、情報を教えてほしい。

【当日の様子】

（所感）

どの団体もコロナにより、活動を自粛したり、取りやめたりしていた中で、お互いに知り合い協働できるコラボの種が生まれた。近くにいながら接点がなかったのでひとつきっかけになる良い機会をつくれた。

6-2、 まちづくりに関わる多様な主体間の連携及びネットワークの構築

（1）市民活動支援センター意見交換会

滋賀県内の中間支援センターで働くスタッフ間の研修や情報交換の場として開催されている。今年度は滋賀ネットワークセンターの担当者が初めてだったので、再度世話人となり会議の企画を考えた。

①第１回市民活動支援センター意見交換会

日時：2020年9月4（木）13：30～15：30

会場：長浜まちづくりセンター会議室C

内容：●意見交換会の位置づけについて

●本年度の名簿確認について

●各センター等の相談状況について

●新型コロナウイルス感染症による滋賀県の各市民団体への影響について

②第２回市民活動支援センター意見交換会

日時：2020年12月15日（火）13：30～16：00

会場：甲賀市まちづくり活動センター（まるーむ）
内容：●「一般法人」について知ろう
～その制度とガバナンス・責任ある運営にために～
●NPO 相談設立時に伝えておいてほしいこと（滋賀県県民活動生活課より）
③第３回市民活動支援センター意見交換会
日時：2021年３月３日（水）１４：００から１６：００
内容：●せき・まちづくりNPO ぷうめらん Zoom 視察

(2) 災害支援市民ネットワークしが
①災害支援市民ネットワークしが 2020 年度第１回研究会
日時：2020 年６月27日（土）14：15～16：45
会場：草津まちづくりセンター
内容：「長野での連携協力から学ぶ」
講師：NPO 法人さくらネット　石井布紀子さん
②災害支援市民ネットワークしが２０２０年度第３回研究会
日時：2020 年１０月３０日（金）13:30～16:30
会場：草津まちづくりセンター
内容　「コロナ感染症を踏まえたHUG 体験」
講師：（一社）福祉防災コミュニティ協会　渕井恵美子さん
③災害支援市民ネットワークしが２０２０年度第４回研究会
日時：2020 年 12 月１０日（木）13：30～16：30
会場：ピアザ淡海
内容：「コロナ対策から災害支援を考える」
講師：NPO 法人さくらネット　石井布紀子さん
④災害支援市民ネットワークしが２０２０年度第５回研究会
日時：　2021 年１月１８日（火）13:30～16:30
会場：草津まちづくりセンター
内容　「コロナ感染症を踏まえた避難所運営体験」
講師：（一社）福祉防災コミュニティ協会　渕井恵美子さん

(3) ボランティア推進を考える会（社会福祉協議会）
①ボランティア推進を考える会 2019 年度第１回
日時：2020年９月29日（火）13：30～15：30
場所：瀬生コミュニティセンター学習室
内容：2019年度のふりかえりと 2020 年度の計画
グループ懇談「ボランティア活動に参加できる機会や自分にできることを活かせる機会づくり」～コロナ禍で感じていることから～

②通年はもっと回数が多いが、新型コロナウィルス感染予防の為回数が少なかった。

(4) そこら編集委員会

地域の情報冊子「そこら」を作成するための編集委員会。冊子の内容や編集方法まで委員会の中で検討する。今回のテーマは、「ふくし」

日時：2020年10月2日（金）18：30-21：00

会場：八日市図書館

(5) 東近江市市民協働推進委員会

少子高齢化・財政悪化など社会経済情勢の大きな変化や市民ニーズが多様化・複雑化する中、公共的な課題を解決するにはこれまでのような行政サービスだけでは対応が困難である。公共分野に市民が積極的に参加すると共に、市民と行政がそれぞれの特性を生かして相互の理解と信頼の下に、連携・協力して地域課題の解決に取り組む「市民と行政の協働によるまちづくり」が求められている。委員として参加する。

日時：2020年　9月　3日（木）19:00～21:00
　　2020年10月12日（月）19:00～21:00
　　2021年　2月12日（金）19:00～21:00
　　2021年　3月16日（火）19:00～21:00

会場：東近江市役所

6-3. 活動団体や事業者と行政との協働の促進及びコーディネート

(1) 東近江市市民活動推進交流会

わくわくこらぼ村実行委員会の検討内容

「わくわくこらぼ村オンライン～おうちで出あおう～」報告

<目的>

・団体の活動を通して市民活動を広く市民に知ってもらう。

・活動している団体同士の交流の場となる。

<日時・場所>

日時：2021年1月15日～2月1日（毎日17時より配信）

場所：YouTube配信

<スケジュール>

日付	内容
2020年7月30日（木）	第1回実行委員会
2020年9月11日（水）	第2回実行委員会
2020年10月6日（木）	第3回実行委員会

＜開催報告＞

開催合計数　1,710 回(2021 年 3 月 20 日現在 チャンネル登録者数は 130)（昨年度 1,500 人）

参加団体数　34 団体（昨年度 52 団体）

チラシ　12,000 部　（全小学校、全中学校）

＜企画＞

①わくわくこらぼ村音楽祭

新型コロナウイルスの影響で多くのイベントが中止となり、発表の場も少なくなってしまった。そんな中で東近江市内で活動している音楽団体を市民に知ってもらう。

前半「Dance studio KAERU、貴緑家文好一門（東近江江州音頭普及愛好会）、Rag Time」
後半「鈴鹿春番太鼓、Nines a ZUMBA、nekocan.」
実行委員会の検討内容

・わくわくこらぼ村の目的に応じた企画・運営
・わくわくこらぼ村の参加団体に対する募集要項の内容検討

②おえかきしりとり

各地区まちづくり協議会にリモート会議(Zoom)を使用できるようになってもらうため、そして市民さんにまち寺を身近に感じてらもうために企画した。

③団体活動紹介動画

●東近江わくわく市民活動支援補助金採択団体　12 団体

・ノラノコ、
・水辺の里伊誕を考える会
・ＮＰＯ法人まちの相談室よりそい
・ＮＰＯこもれ日小田苅家

・夢の館
・祇谷里山会
・おうみ東部おやこ劇場
・東近江トレイル実行委員会
・能登川ちんどん政策委員会
・土とつながる暮らし Soil
・中山道五個荘にぎわい事業委員会
・暮らしの寺子屋）
●コミュニティビジネススタートアップ支援事業採択団体　２団体
（地域に根ざした外国人学校の仕組みづくりプロジェクト、Happy Food Network プロジェクト）

6-4.　ボランティア希望者と受け入れ団体のコーディネート

ひよこサロン等で何かしたいと考えている方々の支援としてコーディネートを行なってきた。今年度はサロンの参加もなかったが、相談により以下のコーディネイトを行なった。
・平和堂アピアの企画の方が、市内の活動団体について相談があり、子育てひろばぐるりさんを紹介したところ、ぐるりさんも現在の場所から移転を考えていたこともあり、３階のスペースで開設することに繋がった。
・ココから English の方が多文化共生に興味があるのでと相談に来られたので、秋に開催する多文化共生フェスティバルの実行委員として関わってもらうこととした。外国の方々と知り合いになってもらうようにつなげたい。
・亡くなった奥さんの着物を処分するにはしのびないので、そういう活動をしているところを紹介して欲しいと電話があり、着物のリサイクルでいろいろなものを作っている、こもれび小田刺繍を紹介した。

6-5.　市民活動を促進するフォーラムやイベントの開催に向けた調査、検討、企画等

（１）市民活動促進のためのイベントやフォーラムに参加し、今後の企画などの検討のための調査を行った。参加イベントは以下の通りである。
参加件数１８件

2020年9月5日	ファンドレイジング日本（オンライン）
2020年10月3日	労働者協同組合法成立フォーラム 「これからのまちづくり女性・子育てシェア・介護」（オンライン）

2020年11月14日	NPO法人の人を雇う時の労務・税務について
2020年8月22日	辞退しないで地域を支えて（オンライン）
2020年11月13日	一般法人についての勉強会（オンライン）
2020年10月26日	お金の地産地消白書創刊に際して（オンライン）
2020年11月29日	市民活動初めの一歩 私の暮らしでつくるまちづくり
2020年10月15日	協働推進セミナー（オンライン）
2020年9月26日	労働者協同組合法成立フォーラム 「高齢生産・自給率」（オンライン）
2020年12月10日	コロナ対策から災害支援について考える
2020年12月15日	ふるさと納税による社会課題解決セミナー（オンライン）
2021年1月19日	1980年代林雄二郎と歩んだ黎明期のフィランソロピー（オンライン）
2020年1月21日	社会とよりつながる文章講座（オンライン）
2020年1月28日	社会的インパクト評価オンラインセミナー（オンライン）
2021年2月2日	コレクティブインパクト導入のすすめ（オンライン）
2021/1/25-26	ソーシャルインパクトデイ（オンライン）
2021年2月12日	トランプ現象と〔民主主義の死に方〕私たちの問題として（オンライン）
2021年2月21日	近畿労金　コロナ禍の社会における市民活動（オンライン）

6-6. 東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会の運営支援

（1）協働ラウンドテーブルの運営委員会

（1）協働ラウンドテーブルの運営委員会の開催

協働推進委員会より派生し、ラウンドテーブルの仕組み及び、実践・試行を行う委員会である。毎月第４火曜日の19：15～21：15に定例の会議を以下の通り行う。

表：協働ラウンドテーブル運営委員会の会議報告

月日（時間）	場所	内容
5月26日（火）	まちづくりネット東近江事務所	コロナ禍の状況でできるまちのわ会議とは。コロナ後の社会はどうなる。

6月3日（水）	まちづくりネット東近江事務所	コロナ禍後何がしたい，新しい生活様式の中で残したいこと。まちのわ会議で話したいこと。
6月19日（金）	まちづくりネット東近江の事務所	コロナがあって気づいたこと。
7月14日（火）	まちづくりネット東近江事務所	まちのわ会議のテーマ検討
8月28日（金）	まちづくりネット東近江事務所	まちのわ会議「ここが変だよ東近江版」について SOYORIオンラインについて
9月30日（水）	まちづくりネット東近江事務所	まちのわ会議「ここが変だよ東近江版」について SOYORIオンラインについて
10月9日（金）	まちづくりネット東近江事務所	SOYORIオンライン 吉澤保幸さん（一般社団法人場所文化フォーラム名誉理事）講演後、グループで意見交換
10月27日（火）	まちづくりネット東近江事務所	まちのわ会議「ここがヘンだよ日本 in 東近江」について 次々回まちのわ会議のテーマについて
10月30日（金）	まちづくりネット東近江事務所	まちのわ会議「ここがヘンだよ日本 in 東近江」
11月17日（火）	まちづくりネット東近江事務所	まちのわ会議「ここがヘンだよ日本 in 東近江」の反省会 スキルアップ研修視察について
12月23日（水）	まちづくりネット東近江事務所	スキルアップ研修視察について
1月12日（火）	まちづくりネット東近江事務所	スキルアップ研修視察について
1月27日（水）	まちづくりネット東近江事務所	視察オンライン 岡本健さん（桜井市まちづくり株式会社）
2月10日（水）	まちづくりネット東近江事務所	次回のラウンドテーブルについて DAIENKAIオンラインの企画について
3月10日（水）	まちづくりネット東近江事務所	まちのわ会議
3月19日（金）	まちづくりネット東近	DAIENKAIオンライン

	江事務所	西村俊昭さん（㈱農楽）講演後グループに分かれて意見交換

（2）まちのわ会議の開催

地域課題を解決へ導くために、課題を共有化する仕組みとして円卓会議がある。ラウンドテーブル運営委員会では、この円卓会議を「まちのわ会議」として以下の通り開催した。

①「ここがヘンだよ日本 in 東近江」

＜目的＞

東近江市には、36 か国、約 3,000 人の外国人が暮らしている。外国人から見た、日本のおかしなところを聞き、問題の整理をする場とする。

＜日時＞　2020 年 10 月 30 日（金）19：00～21：00

＜内容＞

外国籍の方や外国で暮らしていた方に集まってもらい、日本と母国との違いや日本に暮らして感じることを語ってもらう。

当日は、Zoom で参加してもらえる機会を設け、YouTube で配信をし、多くの方に見てもらう機会をつくった。

＜運営＞

ファシリテーター：楠神、岩瀬

司会：坂倉

板書：森下

オペレーター（Zoom 担当）：竹内

オペレーター（YouTube 担当）：藤

カメラ：西川、久保

総合：小倉

＜着席者＞※出演時の名称

ジョンニーさん（イタリア）、ノイさん（タイ）、マックさん（アメリカ）、サビナさん（ペルー）、パイナップルさん（中国）、トゥアンさん、タイさん（ベトナム）

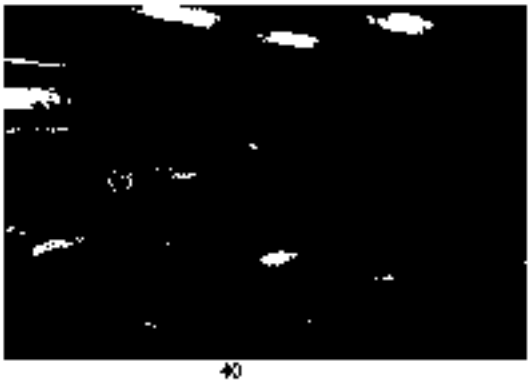
＜参加者・閲覧者（再生回数を含む）＞

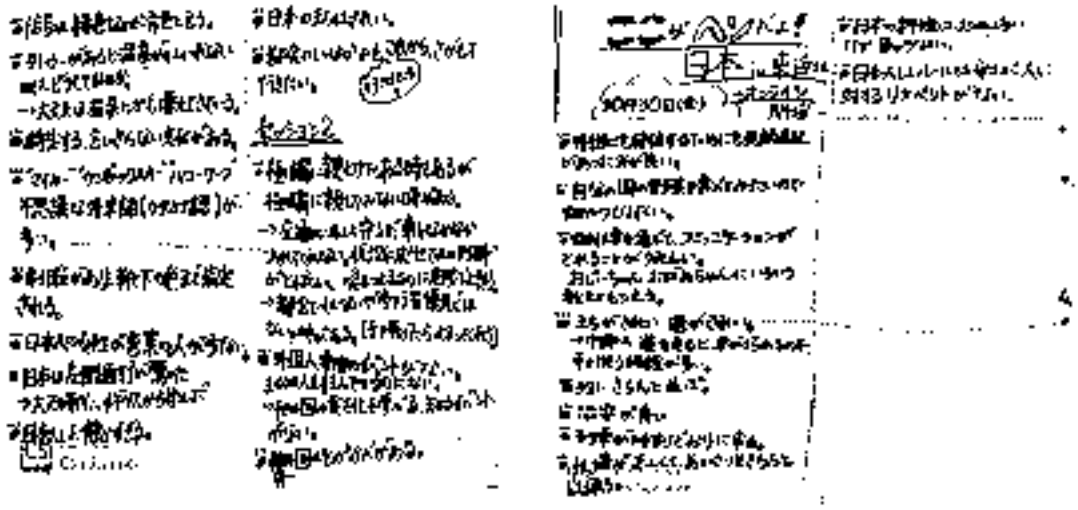
◎当日　Zoom 参加者：10 名　YouTube 閲覧者：26 名　現場観覧者：9 名

◎後日　Facebook：254 回　Instagram：158 回　YouTube：475 回

（※11 月 11 日現在）

＜当日写真・板書＞





<振り返り>

日時：2020年11月17日（火）19：15～（ラウンドテーブル運営委員会）

◎ファシリテーター

・場をつくることの難しさを感じた。

・場の雰囲気を見ながら、話を伸ばしたり、様々な人に話を振ることにより、参席者だけに注目されるのではなく、視点を変えたりできた。

・参席者の方が緊張しておられたので、臨機応変に話を変えながらできた。

・21：00に終わることを目標にして、終わることができてよかった。

◎Zoom、YouTubeについて

・今回のような手法に挑戦できたことはよかった。

・急な変更が難しいので、当日の中で変更を連携できるようなツールを用意しておけばよかった。（ファシリとの連携）

・いろいろと勉強になった。（機材、参加方法など）

◎板書

・一番、書きやすいテーマだった。

<今後について>

・参席者は、もっと話をしたかったと思うので、次にも生かしたい。

・今回の話された話を次につなげていきたい。

・来年の9月に多文化共生のイベントができたらいいと考えているので、そこにも今回の話を活かし、外国籍の方と日本人が話をするスペースができたらよい。

・次回は、参席者とテーマをしぼってする

・来年5月ぐらいにできたらよい。

（2）スキルアップ講座オンライン視察の開催

ラウンドテーブル運営委員会では、各自のスキルアップを目指し研修を行っている。

今回は他市を訪問し、まちづくりの当事者から話を聞くために、奈良県桜井市に行く予定だったが、コロナウイルスによる緊急事態宣言が出されたこともあり、訪問ではなく、オンラインで話を聞き、質疑応答を通して学ぶこととした。

日時：2020年1月27日（水）19：30～21：30

講師：岡本健さん（桜井市まちづくり株式会社）

オンライン

参加者：１０名

6-6．小規模多機能自治の推進に係るまちづくり協議会等への運営支援

小規模多機能自治ネットワーク会議近畿ブロック会議がZOOMで行なわれるため、各地をつなぐオンライン支援と、当団体の『未来を創るプロジェクト～新型コロナウイルス感染症に対する緊急支援』の事例報告を行なった。

日時：2021年２月25日（木）

会場：Zoom

参加者　３４名

スケジュール

13:30～ 開会・あいさつ（東近江市まちづくり協働課長）

13:35～ 趣旨説明

13:40～ 話題提供① 『コロナ禍だからできた組織見直しの場づくり』
梁瀬地域自治協議会（朝来市）「（一社）朝来まちづくり機構事務局長中島英樹氏

13:55～ 話題提供② 『東近江ワンペアレントサポートプロジェクト ひとり親家庭サポート』
一般社団法人がもう夢工房（東近江市）業務執行理事 堀 康典氏

14:10～ 話題提供③『未来を創るプロジェクト～新型コロナウイルス感染症に対する緊急支援』
認定特定非営利活動法人まちづくりネット東近江（東近江市）事務局次長
森下 瑠美氏

14:25～ 休憩

14:30～ 小規模多機能自治推進ネットワーク会議について現状共有（事務局：豊岡市板持周治氏）

14:40～ 参加者による情報交換（グループに分かれて情報交換）

15:15～ グループ発表による情報共有

15:30～ 質疑応答

15:45　閉会

6-7. 地域共生社会の実現に向けた各テーマごとの中間支援機能との連携

未来を創るプロジェクトが始まると同時に、社会福祉協議会・東近江市商工会議所・東近江商工会・まちづくり協働課とともに、月1回程度のZoom会議で情報交換を行なった。コロナ禍におけるお互いの状況を把握した。

第7章 その他市民活動の促進に関する自主業務

市民活動・地域活動の促進し、市民と行政の協働の推進を図るため、受託者が必要かつ有効と考える事業を自主的に企画、実施する。

7-1. 講演・講座依頼

（1）広報講座：チラシ作成の考え方と作り方について
市辺まちづくり協議会
日時：2020年8月
2021年2月
会場：能登川コミュニティセンター

（2）滋賀県立大学　環境科学部
滋賀県立大学で、2020年後期に開講する「市民参加論」で東近江市での地域づくり・コミュニティビジネス・市民参加等について学ぶことに特化したプログラムを実施する。
※市民参加論の概要：自治体の政策過程やNPO等による地域づくり活動、コミュニティビジネス等への市民参加の推進方策について学ぶ
日時：2020年11月27日（金）13：30-15：00
会場：滋賀県立大学
依頼：滋賀県立大学

（3）コミュニティセンター職員研修会
日時：2021年2月24日
内容：各コミュニティセンターでのコロナ禍に於ける講座の開催について
依頼：東近江市生涯学習課

（4）三方よし研究会
日時：2020年8月20日

内容：未来を創るプロジェクト経過について講演
依頼：NPO 法人三方よし研究会

7-2. まちづくり協議会への支援

まちづくり協議会から様々な支援依頼が増え、福祉第２層会議の冊子作りや、その他の冊子の作成依頼や、オンライン支援などが増えた。

（1）オンライン支援は講座で掲載

（2）地域福祉第二層協議体冊子作成
中野地区まちづくり協議会
蒲生地区まちづくり協議会
八日市地区まちづくり協議会
建部地区まちづくり協議会

（3）平田地区まちづくり協議会
平田を知ってもらうためのツールとして水鉄砲合戦の冊子づくり

7-3. 視察受入れ

まちづくりネット東近江の活動や、市内の活動を紹介し案内をした。

2020 年 4 月 26 日	高槻市	7 名
2020 年 5 月 28 日	高島市生活部他	5 名
2,020 年 7 月　3 日	山形県酒田市	4 名
2,020 年 7 月　6 日	奈良大学	2 名
2,020 年 10 月 10 日	埼玉県北本市	5 名
2021 年 2 月 19 日	近畿環境事務所	3 名
2021 年 3 月 16 日	草津市コミュニティ事業団	4 名
	計　7件	

7-4. 東近江たびいち事業

（一社）東近江市観光協会と東近江市観光物産課と協働で行う事業。東近江市での体験型のコンテンツを募集し、観光客に提供する仕組み。まちづくりネット東近江では、コンテンツの造成を担当する。２回のワークショップを行い、個別での相談も行う中で、それぞれのコンテンツを深めていく。また、開催後の反省会を行う。

（1）　ワークショップの開催
日時：2020年6月23日（火）13：00～
　　2020年6月23日（火）19：00～
　　2020年7月10日（金）19：00～
会場：東近江市役所　東庁舎A会議室
（2）　個別相談会の開催
日時：2020年7月12日（月）　1件
　　2020年7月16日（木）　1件
　　2020年7月17日（金）　1件
　　2020年7月20日（月）　2件
　　2020年7月27日（月）　1件　　計　6件
会場：まちづくりネット東近江　事務所
（3）　交流会の開催
日時：202′年 2月　5日（金）19：00-21：00
会場：東近江市役所　313・315会議室

7-5.　休眠預金助成金採択事業

公益財団法人三菅よし基金の「2020年度新型コロナウィルス緊急対策支援」に、以下の課題の解決に向けての事業で採択され、様々な活動を行った。

<課題>

市内の団体にも影響がでており、昨年度以上の相談がある。（昨年度55件、今年度100件以上（4月-8月））。その多くは、これまで行われていた会議ができなくなったことで、団体内での意思疎通を図ることができなくなったこと。今後の活動に対する不安が多い。また、話し合いの場を持っても「今年度は、仕方ないので中止にしよう。」「他もやめているので、私達もできない！」といったことにより中止や縮小を余儀なくされ、できないことに対する悲しみや憤り、そのことが、今できることは何かを考える、創発する心を阻んでいるように感じる。地域を創るのは、まぎれもなく市民の

力であり、その力が発揮できない状態にあることが地域の危機である。だからこそ、今できることを考え、少しでもあゆみを止めないことが必要なことではないかと考える。これまで、地域の活動の取組みは、すべて対話から始まっている。対話することで、新たな課題への気づきや事業を進めるヒントになっていた。形を変えてでも人と人がつながりを断ち切らない方法を模索することが必要である。また、4月から東近江国際交流協会と合同庵設になったことにより、外国人の相談も身近に感じるようになった。休業や失業したため、当面の生活を支援してもらえる制度やコロナ禍で、休業中に日本語を学ぶ機会を持ってほしいと会社から言われたという相談が多い。この

地域には、市人口の約３%の外国籍の方が暮らしている。その方々も、このまちで暮らす紛れもない市民である。しかし、東近江国際交流協会だけでは、今ある課題を解決することは難しい。そこで、地域自治を担うパートナーとして位置づけ、多文化共生を共に考えていく機会をつくっていきたい。今求められていることは、多くの人の知恵と力である。市内外の様々な人のネットワークを駆使しながら、情報を集め、この地域にあった形で課題を解決することができるようにしていきたい。

＜事業名＞

地域のあゆみを止めない支援拡充事業

（１）事業内容

コロナ禍でできる話し合いの場の支援や技術やスキルを伝授するだけでなく伴走型の支援を行う。また、地域資源（地域団体の活動も含む）を動画やHPで発信することにより、今後の地域の営みになるよう共に磨き上げを行う。今回の事業を通じて、したいことができるように、逢いたい人に逢えるような、新しいつながりを創っていきたい。緊急性の高い外国人への支援は、東近江国際交流協会と連携をし、日本語教室の拡充、外国籍の方向けの相談窓口の充実を図る。

①オンラインツールの運用支援（Zoom講座、スマホ講座）

月	日	活動内容	参加者
10	6	八日市まち協スマホ相談会	7
10	23	御園まち協スマホでこんなことできる講座	18
11	12	建部まち協スマホ講座	15
11	17	八日市地区まち協スマホ相談会	9
11	26	建部まち協スマホ個別相談会	9
12	11	建部まち協LINE講座初級編	10
12	18	建部まち協スマホ個別相談会	4
12	18	八日市まち協スマホ個別相談会	10
2	16	八日市スマホ相談会	4
2	22	市辺まち協スマホ講座	10
3	1	市辺まち協LINE講座	20
3	8	市辺まち協LINE講座グループセッション	10
3	15	市辺まち協LINE講座グループセッション	10
3	16	八日市スマホ相談会	6
		総数	１２８名

②SNS での情報発信開設・運用相談支援（公式 LINE アカウント開設、Youtube 配信）

月	日	内容	参加者
10	5	東近江市版 SIB　事業説明会及び出資説明会 オンラインの補助	66
10	6	東近江国際交流協会より Youtube 配信相談	1
10	12	建部まち協公式 LINE アカウント導入（団体支援）	3
10	19	御園まち協運営委員向け ZOOM 支援（団体支援）	10
10	20	蒲生地区人権のまちづくりよりオンライン相談（団体支援）	1
10	28	Zoom 座談会（まちづくり協議会 8 団体）	9
10	29	Zoom 座談会（まちづくり協議会 5 団体）	5
10	30	ここがへんだよ日本 in 東近江（リアルとオンライン）	586
11	11	市辺まち協公式 LINE スタッフ向け研修（団体支援）	3
11	12	建部まち協公式 LINE スタッフ向け研修	2
11	15	滋賀ネットワークセンター　相談	1
11	16	東近江市社会福祉協議会　相談	3
11	19	いこい作業所　相談	3
11	22	日本語スピーチ大会　外国人 22 人　日本人 14 人　スピーカー 6 人　25 日（水）YOUTUBE 配信あり	22
11	22	ガリ版シンポジウム（団体支援）（リアルとオンライン）	738
11	25	御園まち協オンライン講座支援（団体支援）	9
11	25	パソコンボランティアねっとスマホ講座（団体支援）	10
11	28	蒲生の人権研修オンライン配信支援（団体支援）（リアルとオンライン）	191
12	9	パソコンボランティアねっと LINE 講座（団体支援）	12
12	11	建部まち協公式 LINE　相談（団体支援）	2
12	24	オンライン配信相談（2 名）	2
1	5	市辺まち協 ICT 支援（LINE・Facebook）（団体支援）	3
1	20	能登川やわらぎボランティア ZOOM 講座（団体支援）	13
1	20	御園まち協男の料理教室オンライン開催支援（団体支援）	6
1	20	社協 YOUTUBE 支援（団体支援）	2

2	5	ZOOM サポート支援（団体支援）三方よし基金	1
2	12	環境円卓会議 ZOOM サポート支援	40
2	18	社協 ZOOM サポート支援	25
2	23	あかねふれ愛のつどい Zoom 支援	120
2	24	コミセン ZOOM 研修オンライン支援	10
2	24	ZOOM 座談会地域で働きつながる人たち	10
2	25	小規模多機能自治ネットワーク ZOOM 支援	35
2	28	しが NPO センターZOOM 支援	10
3	3	滋賀県中間支援組織研修 ZOOM 支援	16
3	10	ぐるりの家データベース相談	1
3	12	社協 ZOOM 運営相談	1
3	15	平田まち協 HP・Google 支援	7
3	19	まちのわ会議 ZOOM 支援	20
3	22	国際交流協会ペルー料理教室 ZOOM 支援	18
3	22	社協地域を元気にする講演会 ZOOM 支援	40
3	27	ひがしおうみ大花火大会配信支援視聴数	15000
3	27	ひがしおうみ大花火大会配信支援団体数	1

総数　　１６,５３５人

③地域団体の新たな魅力の発信支援（各団体の事業の動画配信、市内外の団体との交流充実）

月	日	内容	対応者
12	8	視察ヒアリング（東近江三方よし基金　１名）	1
12	25	視察ヒアリング（愛のまち工コ倶楽部　２名）	2
1	13	視察ヒアリング（東近江市社会福祉協議会２名）	2
1	13	視察ヒアリング（蒲生地区まちづくり協議会１名）	1
1	13	視察ヒアリング（一社）がもう夢工房　１名）	1
2	3	視察ヒアリング（中野ビレッジ　２名）	2

2	10	視察ヒアリング（あいとうふくしモール２名）	2
2	19	視察ヒアリング（みんなの奥永源寺１名）	1
3	5	視察ヒアリング（蓮林会１名）	1

総数　9団体

④地域の課題や思いを共有する場の支援（Zoom 井戸端会議）

1）まちづくり協議会事務局長交流

<目的>Zoom の経験がないところも多く練習を兼ねて使い方を学び、アイスブレークを通して市民に事務局長のことをわかってもらう機会とする。また、コロナ禍によるお互いの取り組みの交流を行なう。

日時：2020年10月28日（水）14：00～15：30　参加者8名

10月29日（木）14：00～15：30　参加者6名

2）地域でつながり働く人たち

<目的>なかなか人と会えない、生の情報を得る機会がないという中で、困っていること、悩んでいること、コロナで工夫したことなど、お互いの近況を語りあう

立場が違う人たちの声からお互いの状況を把握し、新たなコラボが生まれることを願って開催する。

日時：2021年2月24日（水）14：00～15：30　参加者 14 名

⑤地域課題の事業への支援（外国人労働者支援事業、緊急時のネットワークづくり）

月	日	活動内容	参加者
10	6	日本語教室（ボランティア：5名）	4
10	6	外国人相談受付（ブラジル人１名） 日本語通訳支援（ブラジル人）	1
10	11	日本語教室（受講者17名）（ボランティア：5名）	17
10	12	外国人相談受付（フィリピン人１名）	1
10	13	日本語教室（受講者6名）（ボランティア：4名）	6
10	13	外国人相談受付（ベトナム人１名） ポケトーク使用	1
10	16	外国人相談受付（ブラジル人２名） ポケトーク使用	2
10	17	日本語教室（受講者5名）（ボランティア：5名）	5
10	18	日本語教室（受講者7名）（ボランティア：5名）	7

10	20	外国人相談受付（ポルトガル人１名） ipad 見える通訳使用.	1
10	24	日本語教室（受講者１４名）（ボランティア：５名）	14
10	25	日本語教室（受講者１６名）（ボランティア：７名）	16
10	27	日本語教室（受講者４名）（ボランティア；４名）	4
10	31	日本語教室（受講者９名）（ボランティア：５名）	9
11	1	日本語教室（受講者１３名）（ボランティア：７名）	13
11	6	甲賀市視察研修	
11	7	日本語教室（受講者７名）（ボランティア；５名）	7
11	8	日本語教室（受講者９名）（ボランティア：６名）	9
11	10	日本語教室（受講者３名）（ボランティア：４名）	3
11	14	日本語教室（受講者１２名）（ボランティア：５名）	12
11	15	日本語教室（受講者１１名）（ボランティア：５名）	11
11	17	日本語教室（受講者４名）（ボランティア：４名）	4
11	24	日本語教室（受講者４名）（ボランティア：４名）	4
11	28	日本語指導ボランティア見学会やさしい日本語講座	6
12	1	日本語教室（受講者５名）（ボランティア：５名）	5
12	5	日本語教室（受講者１２名）（ボランティア：６名）	12
12	6	日本語教室（受講者１０名）（ボランティア：６名）	10
12	8	日本語教室（受講者４名）（ボランティア：５名）	4
12	12	日本語教室（受講者９名）（ボランティア：５名）	9
12	13	日本語教室（受講者１０名）（ボランティア：６名）	10
12	22	日本語教室（受講者３名）（ボランティア：３名）	3
1	12	日本語教室（受講者２名）（ボランティア：４名）	2
1	16	日本語教室（受講者２名）（ボランティア：４名）	4
1	30	日本語教室リモート講座	2
2	2	日本語教室リモート講座	1

2	2	日本語教室リモート講座	1
2	3	日本語教室リモート講座	1
2	4	日本語教室リモート講座	2
2	6	日本語教室リモート講座	2
2	7	日本語教室リモート講座	1
2	8	日本語教室リモート講座	2
2	13	日本語教室リモート講座	1
2	14	日本語教室リモート講座	3
2	16	日本語教室リモート講座	2
2	20	日本語教室リモート講座	1
2	21	日本語教室リモート講座	3
2	23	日本語教室リモート講座	2
2	24	日本語教室リモート講座	1
3	2	日本語教室リモート講座	2
3	5	日本語教室リモート講座	2
3	6	日本語教室リモート講座	3
3	7	日本語教室リモート講座	3
3	9	日本語教室リモート講座	2
3	10	日本語教室ボランティア指導	1
3	16	日本語教室リモート講座	1
3	19	日本語教室リモート講座	2
3	20	日本語教室リモート講座	1
3	21	日本語教室リモート講座	2
3	23	日本語教室リモート講座	1
3	24	日本語教室リモート講座	1
3	27	日本語教室リモート講座	2
3	28	日本語教室リモート講座	1

累計総数２６５名

（2）連携体制

東近江国際交流協会

東近江市パブリックアクセス推進協議会

社会福祉法人東近江市社会福祉協議会

東近江市

東近江市ラウンドテーブル運営委員会

第８章 評価と課題

8-1. 評価と課題

評価と課題

年度当初に母保健センターを共同事務所として移転し、他の団体とともに、使用したことで新たなつながりが広がった。

年度当初から、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言という、未曽有の事態がおき、混乱した１年だった。昨年５月、コロナ禍による地域事業所支援として「未来を創るプロジェクト」を立ち上げ、先付けチケットによる寄付を開始したところだったが、リモートワークを取り入れるなどして対処できた。

このプロジェクトは商工会議所や商工会、東近江市など多数の団体との協働事業となり、地域の事業者とのやりとりを通して当法人の認知が広がるきっかけとなったことは大きい。セクターの違いによる認識の温度差はあったが、東近江市民の大きな応援があったことで、このプロジェクトは成功裏に終わった。

未来を創るプロジェクトが終わったと同時に、３月末開催のひがしおうみ大花火大会の事業が始まった。東近江ライオンズクラブより、コロナ禍により、小学６年生と中学３年生に花火をあげる思い出を作ってあげたいという提言で、実行委員会に参加して始まった。今回も地域の事業者の方たちとともに進められ、事業者との距離が一気に縮まったと思う。

この事業は市民が次々と寄付を持って来られ、花火という取り組みの大きさとともに、この事業に対する思い入れの強さも感じた。

新型コロナウイルスは密をさけないといけないという特性のため、どこのまちづくり協議会もイベント等が中止やオンライン開催となり、オンラインへの相談が一気に増えた。スタッフもオンラインの支援や、ＷＥＢでの情報発信の強化を求められ、そのために、日々学びながら支援に当たるという、スキルアップの年になった。

地縁組織との連携や、地域事業者との取り組みなど、これまで当法人との関係がなかったところとの結びつきは今後の当法人の大きな財産となりえた。

滋賀県立大学の平岡先生による東近江のまちづくりに関してのコーディネイトも２年目となり、当法人のスタッフや地域の活動家に大学でお話したことは学生の学びが大きいと聞いている。その成果もあり、学生による情報誌にじまちの編集と作成にも関わってもら

う機会を得て、学生による広報誌の作成という新たな企画も出来た。

一方、コロナ禍による活動中止という事態を避けるべく、講座の人数制限やアクリルパネルの設置など、工夫をしながら進めた。

今年の「わくわくこらぼ村」はオンラインでの開催に切り替え、動画を通してＹＯＵＴＵＢＥで視聴してもらった。こういう経験を通して、新たな支援の素材も増えた。

また、休眠預金による新型コロナウイルス対応緊急助成を受け、東近江市国際交流協会とともに、多文化共生支援としての事業や、コロナ禍で困っているところへオンライン支援、視察が減ったことによる団体への支援を考え、その実績作りを行なった。

社会はコロナ禍で仕事もなくなったという声も聞くが、当団体にとっては様々な事業や多様な方々に関わることができ、忙しい日々となったが新たなつながりができ、充実した１年となった。

○未来を創るプロジェクトは、地域の事業者との協働事業として、初めて経験したことも多かった。セクター間の文化の違いも感じることもあったが、市民へ呼びかけた反応は、多くの方々が応えて頂きたくさんの先づけチケットに申し込んで頂けた。また、運営への寄付も多く、市民の気持ちをありがたく感じた事業となった。

○まちづくり協議会へのオンライン支援が一気に広がった。スタッフにスキルがあったことで、様々なところから声がかかり、そこへ対応したことで、また新たなところへの支援が広がるという大きな事業となった。昨年から徐々にまちづくり協議会との連携はあったが、今年度は一気に広がり、当団体の認知をしてもらえた事は大きい。

○各まちづくり協議会との連携も、福祉第２層会議の用子作りや、まちづくり関係のパンフレットなど、様々な分野で広がった。

○休眠預金の助成金に応募し採択された。IT 関連の備品や、外国人への多文化共生事業など、これまで当団体として関わりがなかった部分も、東近江市国際交流協会と共同事務所になったことで外国人支援の課題を知り、ともに事業を進めることになった。これまで関われなかった部分だったので、大きな一歩となった。

○こらぼ村オンラインは、スマイルネットでの放送とその後 Youtube 配信を行なった。音楽祭はビデオをとったり、各団体からは写真を送ってもらったものを動画に作るなど、初めての取り組みだったので大変だったが、学生の協力者へお願いするなど新たなつながりもつくり、出来上がった。新たなつながりは今後も継続していきたい。

○パソコン教室やスマホ講座は、聞きたいところを聞くスタイルを取り入れたことで、参加者から好評で、自分がわかるまでとして何度も来られる方があった。

○にじまちサポーターズは年度当初のコロナウイルスの緊急事態宣言などがあり、未来を創るプロジェクトが始まり、こちらで寄付集めをするので今年度は募集を中止した。

○未来を創るプロジェクトが終了と同時に「ひがしおうみ大花火大会」の寄付集めが始まり、１月以降、忙殺された。ただ実行委員が寄付集めに回られ寄付参加者も寄付額も多く、毎日のように寄付を何人分も持ってこられる姿は、東近江市の市民力を感じさせた。

○当団体の事業が浸透し、多くの方々の目に見える形になったと同時に、日々忙しさがま

した。スキルを求められた仕事を次々とこなすようにはなり、スタッフの実力は上がったが、スケジュール管理など整理しないといけないことも見えてきた。

【第2号議案】

決　算　報　告　書

第　9　期

自 2020年 4月 1日

至 2021年 3月31日

特定非営利活動法人まちづくりネット東近江

滋賀県東近江市八日市金屋2丁目6-25

2020年度 活動計算書

特定非営利活動法人 まちづくりネット東近江

2020年4月1日～2021年3月31日現在

科目	2019年度決算	2020年度予算	2020年度決算	摘要
Ⅰ 経常収益の部				
1. 受取会費				
正会員会費収入	84,000	100,000	86,000	個人正会員 40名×2,000円 団体正会員 4団体×2,000円
賛助会員会費収入	10,000	50,000	10,000	賛助団体会員 1団体×10,000円
受取会費計	94,000	150,000	96,000	
2. 受取寄付				
寄付収入	1,071,789	1,550,000	16,815,702	未来を創るプロジェクト 3,871,500円 ひがしおうみ大花火大会 12,901,683円 まちづくりネット東近江 46,519円
受取寄付計	1,071,789	1,550,000	16,815,702	
3. 事業収益				
事業収入	2,428,394	3,810,000	4,082,218	自主事業 3,782,218円 ちいさなたびいも事業 300,000円
受託事業収益	16,128,000	16,408,000	18,405,000	東近江市市民活動支援事業 16,005,000円 協働のまちづくり事業 400,000円 地域循環共生圏プラットフォーム事業 2,000,000円
寄付制度手数料	105,676	150,000	0	
助成金収入	0	0	4,736,000	新型コロナウイルス対応緊急支援助成 4,736,000円
補助金助成金収入	0	0	3,100,000	未来を創るプロジェクト支援補助金 1,000,000円 持続化給付金 2,000,000円 新型コロナ対策給付金 100,000円
事業収益計	18,662,070	20,368,000	28,823,218	
4. その他収益				
雑収入	30,585	50,000	1,086	
受取利息収入	97	1,000	55	預金通帳の利息
その他収益計	30,682	51,000	1,141	
経常収益計	19,858,541	22,119,000	45,736,061	
Ⅱ 経常費用の部				
1. 事業費				
(1)人件費				
給料手当	9,869,889	10,264,000	10,043,555	事務局員 5名分
法定福利費	1,172,011	1,200,000	1,272,802	事務局員 5名分
人件費計	11,041,900	11,464,000	11,316,357	
(2)その他経費				
支払い助成金	841,693	1,350,000	15,325,170	未来を創るプロジェクト ひがしおうみ大花火大会
外注費	2,256,279	1,250,000	3,435,620	東近江三方よし基金への委託費 八日市駅前フードバンクドライブスルー等
諸謝金	667,293	532,000	461,769	CB研修会、多文化共生講座等
[illegible]	41,183	50,000	0	
印刷製本費	465,295	680,000	1,285,230	未来を創るプロジェクトチラシ、広報誌「こまち」印刷代等
旅費交通費	50,472	590,000	720	出張旅費等
事務消耗品費	371,811	240,000	945,135	コロナ対策、事務局の消耗品購入費等
通信費	262,583	560,000	325,257	チラシや広報誌送付代等
備品購入費	160,371	50,000	1,745,031	オンラインシステムのための備品、コロナ対策備品
会議費	198,223	150,000	21,940	講座開催のための会場使用料等
広告宣伝費	56,411	80,000	251,414	未来を創るプロジェクト、わくわくこらぼ村オンライン等
[illegible]	107,138	105,000	63,490	私有車両使用時の交通費
新聞図書費	37,026	28,000	21,916	市民新聞購読料
研修費	130,790	120,000	5,000	職員の研修費用
支払手数料	21,160	10,000	125,120	未来を創るプロジェクト支払い手数料等
食糧費	55,407	86,000	40,817	ワークショップ開催時の飲食代等
保険代	25,188	31,000	10,820	事業イベント保険
[illegible]	26,596	30,000	0	
その他経費計	5,764,608	5,517,600	24,080,422	
事業費計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	
2. 管理費				
(1)人件費				
給料手当	2,461,417	2,113,000	2,500,404	事務局員 5名分
法定福利費	263,078	300,000	318,234	事務局員 5名分
福利厚生費	38,320	4,000	48,050	互助会会費、職員の健康診断料金
通勤交通費	670,000	613,000	603,000	事務局員 5名分
人件費計	3,432,815	3,030,000	3,469,688	
(2)その他経費				
印刷経費	141,015	200,000	205,244	事務所コピー機の印刷代
通信費	88,757	150,000	75,524	インターネット接続料、電話代金等
水道光熱費	200,112	450,000	330,232	電気代 172,778円 ガス代 61,414円 水道代 [illegible] 灯油 [illegible]
リース料	98,458	84,000	98,456	事務所のコピー機
地代家賃	957,300	1,070,400	920,500	家賃他 920,500円
支払手数料	2,658	30,000	8,740	振込手数料
支払利息	17,958	25,000	26,907	地域循環共生圏プラットフォーム事業の短期借入のため
雑費	24,250	50,000	108,912	各種団体の会費等
その他経費計	1,451,888	2,077,400	1,890,647	
管理費計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	
経常費用計	21,230,281	22,119,000	40,881,454	
当期経常増減額	-970,760	0	4,854,608	
法人税、住民税及び事業税	0	0	71,200	
当期正味財産増減額	-970,760	0	4,783,408	
前期繰越正味財産額	1,841,725	[illegible]	870,965	
次期繰越正味財産額	870,965	[illegible]	5,654,373	

2020年度　特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人まちづくりネット東近江　　【現在】（単位　円）

2021年 3月31日 現在

《資産の部》		
【流動資産】		
（現金・預金）		
ハコ　預金	206,546	
現金	(130,478)	
その他補助	(76,068)	
普通　預金	8,388,245	
郵便貯金	(401,525)	
湖東信用金庫	(4,464,254)	
滋賀銀行	(2,172,294)	
休眠湖東信用金庫	(1,770,172)	
現金・預金　計	9,094,791	
（売上債権）		
未　収　金	2,912,193	
売上債権　計	2,912,193	
（その他流動資産）		
立　替　金	531,538	
その他流動資産　計	531,538	
流動資産合計		12,538,522
資産の部　合計		12,538,522
《負債の部》		
【流動負債】		
未　払　金	3,778,199	
短期借入金	2,500,000	
預　り　金	56,780	
所得税	(56,780)	
未払法人税等	72,200	
未払消費税	478,000	
流動負債　計		6,885,179
負債の部　合計		6,885,179
正味財産		5,653,343

2020年度　特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人まちづくりネット東近江

[現況]（単位：円）

2021年 3月31日 現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
[流動資産]		[流動負債]	
(現金・預金)		未払金	3,778,199
小口現金	296,546	短期借入金	2,500,000
普通預金	8,698,245	預り金	56,780
現金・預金 計	9,094,791	未払法人税等	72,200
(売上債権)		未払消費税	478,000
未収金	2,912,193	流動負債 計	6,885,179
売上債権 計	2,912,193	[illegible]	[illegible]
(その他流動資産)		正味財産の部	
立替金	531,539	[正味財産]	
その他流動資産 計	531,539	正味財産	5,653,343
流動資産合計	12,538,522	(うち当期正味財産増加額)	4,782,408
		正味財産 計	5,653,343
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

2020年度　事業別損益の状況

2020年4月1日～2021年3月31日（単位：円）

<収入の部>

科目	全事業合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
事業収入	4,082,279	0	0	0		0	0	4,082,279
受託事業収入	16,408,000	14,000,000	408,000	2,000,000	0	0	0	0
助成金収入	4,736,000	0	0	0	4,736,000	0	0	0
補助金収入	3,600,000	0	0	0	0	1,500,000	2,100,000	0
正会員会費収入	89,000	0	0	0	0	0	0	89,000
賛助会員会費収入	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000
寄付金収入	16,615,702	0	0	0	0	0	0	16,615,702
受取利息収入	55	0	0	0	0	0	0	55
雑収入	2,086	0	0	0	0	0	0	2,086
経常収入 計	45,546,062	14,000,000	408,000	2,000,000	4,736,000	1,500,000	2,100,000	20,802,062

<支出の部>

科目	全事業合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
【事業費】								
給料 手当	10,045,855	6,780,000	199,694	499,560	1,001,000	898,866	1,200,000	146,735
法定福利費	1,272,932	972,932	0	0	0	0	300,000	0
支払助成金	15,325,170	0	0	0	0	0	0	15,325,170
外注費	3,426,620	155,000	0	1,500,000	1,541,320	0	0	230,300
諸謝金	444,759	190,908	33,411	0	200,440	20,000	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	1,205,250	30,905	166,510	0	10,210	150,000	0	847,212
通信交通費	720		0	0	0	0	0	720
事務消耗品費	942,156	184,453	8,376	0	85,025	123,207	100,000	440,250
通信費	323,207	112,662	0	0	5,453	98,996	0	105,259
書籍購入費	1,143,051	0	0	0	1,118,164	0	[illegible]	24,887
会場費	20,040	10,040	0	0	10,000	0	0	0
広告宣伝費	253,464	37,490	0	0	0	146,143	0	69,831
燃料費	60,480	54,680	0	0	0	0	0	5,800
新聞図書費	21,916	21,916	0	0	0	0	0	0
研修費	5,600	5,600	0	0	0	0	0	0
支払手数料	125,123	2,200	0	440	0	62,405	0	60,078
会議費	40,935	8,254	0	0	0	0	0	32,683
保険代	10,980	0	0	0	0	0	0	10,980
備品費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業費 計	35,349,209	8,134,951	408,000	2,000,000	3,983,413	1,500,000	2,100,000	17,402,845
【管理費】								
給料 手当	2,508,464	2,328,464	0	0	0	0	0	0
法定福利費	318,234	318,234	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	43,000	43,000	0	0	0	0	0	0
通勤交通費	613,600	193,900	0	0	0	0	0	420,100
印刷製本費	225,246	34,941	0	0	0	0	0	190,305
通信費	75,524	75,524	0	0	0	0	0	0
水道光熱費	338,822	335,522	0	0	0	0	0	3,300
リース料	98,496	98,496	0	0	0	0	0	0
租税公課	520,500	520,500	0	0	0	0	0	0
支払手数料	3,740	2,860	0	0	0	0	0	880
支払利息	26,907	0	0	0	0	0	0	26,907
雑費	109,912	109,912	0	0	0	0	0	0
管理費 計	5,342,245	4,511,153	0	0	0	0	0	651,092
支出 合計	40,691,454	12,646,104	408,000	2,000,000	3,983,413	1,500,000	2,100,000	18,053,937
経常収支差額	4,854,608	1,353,896	0	0	752,587	0	0	2,748,125
<収支差額の部>								
税引前当期正味財産増加額	4,854,608	1,353,896	0	0	752,587	0	0	2,748,125
法人税、住民税及び事業税	72,200							
当期正味財産増減額	4,782,408							
前期繰越正味財産額	870,935							
当期正味財産合計	5,653,343							